

2014年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	総合政策学部	身分	准教授
氏名	山城 雅江		
NAME	Yamashiro Masae		

1. 研究課題

（和文）20世紀アメリカにおける商業美術とアメリカ的価値観に関する社会・文化史的研究
ーノーマン・ロックウェル作品を中心に

（英文）A Cultural Study on the Interplay of Twentieth-Century Commercial Art and Americanism: Focusing on Norman Rockwell's works

2. 研究期間

2年

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究の目的はアメリカ商業美術の代表的なアーティスト、ノーマン・ロックウェルの作品を社会・文化史的観点から分析し、ロックウェルが活躍し始めた1910年代から現在におけるアメリカ社会と作品の諸関係や特異性を浮き彫りにすることである。本研究を通して、アメリカ大衆の「理想」を描いたと評される彼の作品が、いわゆる「アメリカ的価値観」とどのような関係を持ち、どのように相互作用を及ぼし合っているのかを検証した。

研究の流れとしては、1年目にロックウェル作品関連の文献・資料の収集、先行研究の整理を主として進めた。2年目には、国内での資料収集、先行研究の整理、文献の読み込みと同時に、アメリカ東部での調査を実施し、現地での作品分析・資料収集等を行った。

ロックウェル作品に関わる事象は多岐に渡っているが、本研究ではまずは現代アメリカの保守主義との関係を集中的に扱い、特に伝記の出版やアメリカ社会情勢の変化との関係から作品の今日的受容を分析した。こちらは当初は研究ノートとしての発表を計画していたが、資料の充実により論文としてまとめ発表する予定である。

また本研究では、ロックウェル作品の係争点が、美術史のみならず、セクシュアリティや人種、ポピュリズムや戦争といった政治・思想的領域に及んでいることが一層明らかとなった。こうした観点からロックウェル作品とアメリカ的価値観との(非)連続性を考察し、今後のアメリカニズム研究全体の基礎的作業も進めることができた。

（英文）

The objective of this study is to examine Norman Rockwell's works in light of social/cultural history and bring into sharp relief the correlations between American society and his works. Focusing on the interplay with American conservative values, this study looked into academic and popular reception of his works and how they changed while reflecting the social landscapes of the times. The research has also analyzed the (dis)juncture between his works and American values from the perspective of such issues as sexuality, race, populism, and war, laying the groundwork for my larger research project on Americanism in popular culture.

3. 研究成果について（研究期間終了後2年以内・予定のものを含めて記入）

本学機関紙『総合政策研究』及び『人文研紀要』に論文として投稿予定